



直峰通信

令和2年6月22日（月）発行

R2.6.15 スポーツ愛好会活動の様子

6月1日から通常授業再開となり、全校34名の生徒にも日常が戻ってきました。長い臨時休業で少なからず不安やストレスを抱えていることが心配されましたので、分校では夏休み明けと同じような心構えで生徒に対処しようと声をかけておりました。さまざまな面での自粛はしばらく続きますが、高校生らしいはつらつとした心はぜひ発揮してほしいと願っています。「君の思いは自粛するな！」ですね。



スポーツ愛好会 活動再開

本校での愛好会活動が再開されました。月・金の週2日ですが、バドミントンで心地よい汗を流しています。「みんなとバドミントンができるのが楽しい」(キャプテン和栗悠馬さん)、「学年の垣根なくできるのが楽しい」(中山翔太さん)。これまでの思いをすべて発散するような勢いで足を動かし、ラケットを振る姿に、高校生らしさが存分に現れています。

学校開放も順次再開されました。分校体育館を利用する方々には、感染症拡大防止のためのお願いをお伝えしてあります。よく理解していただき、スポーツ活動に打ち込んでいただければと思います。

避難訓練実施「災害は忘れた頃にやってくる」

6月10日東頸消防署から3名の署員をお招きし、避難訓練を行いました。今年は規模縮小で、避難のみの訓練となりました。小規模校らしく、2分半で避難完了、続いて野口署員様から講話をいただきました。以下その要点です。

- ・ 冷静に避難できています。学校では起こらないと思わないでください。想定外のことが起こるものです。
- ・ テレビ等で被災した方の声を聞き、自分の身に置き換えて、自分にとって大切なものがなくなるとはどういうことかを考えてみてください。それも防災訓練のひとつです。

続いて加藤校長より話がありました。

- ・ 火だけでなく煙もこわいのです。逃げる方角がわからなくなったり、ガスで体がうごかなくなったりして命を落とす例があるのです。
- ・ 自然災害にも備えましょう。通学路で、また自宅に戻っての避難場所はどこか、確認しておきましょう。避難する際の所持品の備えも大切です。

これからにも活かせる良い訓練が実施できました。御協力いただいた東頸消防署様、ヨコセAVシステム様、有難うございました。

例年、6月は地域のお年寄りの施設や保育所の方々にも参加していただき、体育祭が行われる季節です。来年度は開催できるはずと期待しております。またよろしく願い致します。

新潟県立高田高等学校安塚分校

〔担当:教頭 沢田貴博〕

〒942-0411 上越市安塚区下方129番地

電話 025-592-2306

FAX 025-592-3541

HP <http://www.takada-h.nein.ed.jp/>

mail school@tadakayszk-h.nein.ed.jp